

1932 題 言 MARCH

京成のスラヴは12吋

大都市郊外の鋼筋コンクリート工事は、一工事毎に新なる合理的經濟化の實現を見つゝあるが、殊に昨年十二月竣工せる京成電氣軌道會社の鋼筋コンクリート高架橋はスラヴの厚12吋にして、經濟的設計の新記録を作つたものである。

東京附近の實例を見るに、高架橋スラヴの厚は、

	徑間	幅	厚
東武鐵道	呪	呪	16
東京橫濱電鐵	20	18	15
湘南電鐵	18	17	16
池上電鐵	17.5	13.5	18
京成電軌	20	20	12

以上の如き京成の合理的經濟化工事が、晝夜兼行の急速工事として施工され、然も優秀なる結果を示しつゝあるは注目すべきである而して本鋼筋コンクリート工事に於ては全部淺野ベロセメレトを使用して急速強度の工事を實施したる事も最新工事としての特色である。

DAMの新型式

國際的にダムが研究される事になつて、近頃日本も其團體に加名する事になつた。實際日本の今日のダムは、理論に於ても實際に於ても、決して歐米のそれに劣る處は少しもない。

唯我國は地震國として厄介な地盤を與へられてゐるので、各國より一步も二歩も進んで研究し實施しなければならぬ問題が澤山にある。其上に急峻な狭い土地であるから治水上の立場からもダムの利用は最も急務であると思ふ 現場の關係者も何等か少しづゝの新考案を得られ度いものである 本號工事新知識欄に紹介したヂエニー氏の案など既に御承知

の方もある事と思ふが、御参考までに掲載した、

龜ノ瀬隧道の變狀

大阪方面では新聞社が號外まで發行して報道した、關西線の龜ノ瀬隧道附近の斷層移動は、地震に馴れた我國人にもニュースバリューの大なる問題となつた。

鐵道省工務局當局は勿論、京大東大其他の學者や民間鐵道關係者等の實地調査で賑つてゐるが、二ヶ月餘も移動を續けて、今尚ほ止まないのであるから、隧道の變狀も甚しく、レールセンターの補強工事も遂に中止するに至り、經過を觀望するの外なき狀態である。

鐵道及び土地住民の損害に對しては寛に氣の毒の事ではあるが、大自然の好個の研究題材なりと思へば、移動しつゝある此際、有志の人は大に實地を視察すべきである。本號には其の概要を報道するに止めた。

仙石博士逝いて百日

土木界の大人物、仙石貢博士逝いて早くも百日を経た。國の内外を通して今や益々彼の犠牲的大人格を必要とするの時何人か故人を憶はぬ者があらう。

二月六日鐵道協會に於て仙石博士追悼會が催され、盛大なる晩餐を兼た談話會があつた我工事畫報社は先に仙石博士逝去の際、故博士に關する逸話特輯號を發行して博士が常に自己の名利を犠牲として眞實の爲に猛進された大先輩の風を傳へたのであるが、當日の追悼會を期し我社は仙石博士追悼號を出席者に寄贈し以て國家功勞者に酬ゆる我等幾分の責務を果たし得たり信ずる

尙ほ我等は單に百日祭の追悼會を以て満足するものではない、日月を経るに隨つて故博士の大人物たる所以に接し度いと思ふものである。